

温水プール、フットサルができる体育室、アーチェリー場、テニスコートに夜間照明、会議に使える研修室など…

# 多摩スポーツセンターの概要が明らかに

この特別株式会社を作ることを希望する事業者は、入札に当たって、どんなスポーツセンターを作るつもりか、事業提案を行わなければならない。川崎市はこ

手法です。川崎市はその会社に「サービス購入料」を支払う形で建設費や維持費を出すと

## 「業務要求水準書」とは

(仮称)多摩スポーツセンターの建設に向けて、川崎市教育委員会は、入札を希望する業者に向けた「業務要求水準書」を発表しました。ここには、どんなスポーツセンターを建設するかということがおおまかに決められており、建設・運営を希望する業者は、これをもとに、事業提案を作り入札に参加します。その内容を紹介します。

の事業提案の内容を検討して、落札者を決定します。

今回発表された「業務要求水準書」というのは、この事業提案を作るにあたって「最低これだけのものは作ってください」という川崎市の構想が示されたものです。

# かわら版すげ

2007年11月  
市議会報告  
日本共産党  
市会議員  
井口まみ  
(発行)  
日本共産党市会議員団  
川崎市川崎区宮本町1  
電話 200-3360  
FAX 245-4140  
http://www.iguchi-mami.jp

## 業務要求水準書に載っている

### 多摩スポーツセンターの施設の概要 (抜粋)

#### ○温水プール

- ・市の公式な大会を開催できる25メートル公認プールとする。
- ・熱源は環境負荷の低減に配慮する。



#### ○大体育室

- ・バスケットボールコートが2面、バドミントンコートが10面とれるようにする。
- ・フットサルコートが1面とれるように、壁も対衝撃性のあるものにする。



#### ○第1、第2体育室

- ・柔道、剣道ができるようにする。

#### ○第3体育室

- ・エアロビクス、ジャズダンスができる

#### ○トレーニング室

- ・トレーニングマシンを置くとともに、健康相談、体力測定ができるようにする。

#### ○アーチェリー練習場

- ・3人以上同時練習が可能にする。
- ・和弓もできるようにする。

#### ○研修室

- ・会議、研修等多目的に利用する。

#### ○西菅公園内野球場、テニスコートも一体に管理する

- ・テニスコートには夜間照明をつける。

#### ○ユニバーサルデザイン

- ・高齢者、障がい者等誰もが不自由なく安全に利用できるようにする。

#### ○駐車場

- ・駐車場は140台を確保する
- ・駐輪場は100台分を確保する。

## 区民の声が

### 取り入れられたものに

業務要求水準書では、左表のとおり、プールはもちろん、武道場や和弓もできるアーチェリー場、西菅公園内のテニスコートの夜間照明などをつくることが提示されています。障害者や高齢者も利用しやすいユニバーサルデザインにすることなど、区民の意見も多く取り入れられました。

にしては「いけない」と議会で要求するなど、市民の皆さんと共産党の共同の力で求めてきたことが反映したものです。

### 入札は来年二月。

### 完成は二〇一〇年十二月

今後は、入札を希望する事業者は来年二月までに事業提案書を作成し、応募。三月には川崎市が落札者を決定します。正式契約は六月で、設計、建設にはいりません。完成は、二〇一〇年十二月の予定です。住民の皆さんが十五年以上待ち続けてきた、温水プール付スポーツセンターが、いよいよ姿を現します！



今年六月議会で質問する  
井口まみ市会議員



# 台風9号で、あわや、多摩川があふれそうに そのときどうする？ 9月議会で対策を質問

今年の九月七日未明、関東に上陸した台風九号の影響で、菅地区では二五年ぶりに多摩川がはんらん危険水域を越え、対策本部まで設置されました。あわやはらん、という事態に直面したとき、住民はどうすればいいのか、どのような情報が必要なのか、井口まみ市議が議会でもたしました。

あと2メートル水位が上がっていたら、避難勧告だった

台風九号の影響で、最も多く雨が降ったのは、東京都の奥多摩町付近でした。そのため、奥多摩湖の水位が上がったため、九月七日午前一時ごろ、小河内ダムから大量の水を放出しました。これが、下流の川崎市周辺はそれほどの雨量ではなかったにもかかわらず、多摩川が増水した最大の原因です。多摩川の菅地区では、ちょうど朝七時〜八時にかけて水位のピークでした。布田橋にある水道局の取水事務所に設けられた対策本部では、多摩川の堤防を警戒し、「水位があと2メートル上がれば、避難勧告になる」と検討していたそうです。さいわい避難勧告という事態は避けられましたが、万一のため菅小学校と菅中学校を避難所として開設するよう、学校に依頼してありました。

避難勧告の前に、広報車が回ります

川崎市内の多摩川の堤防の中では、菅が最も危ない地域といわれています。それは、上河原堰があつて、水の流れが止まるためです。昨年護岸工事が終わり、ひきつづき堰の改修工事が

予定されていますが、これも洪水防止のためです。

万が一、避難勧告にいたる状況になったと判断されると、勧告が出る前に、広報車がまわり、警戒するよう呼びかけがあります。絶対に川に近づかず、まわりの情報をよく聞くことが大切です。

井口議員は、「地震のときの避難はよく訓練をしているが、水害の時にはどうしたらいいのか、情報が足りないのではないか」と指摘し、消防署の出前講座などを積極的に行うよう求めました。

9月議会は、前年度の決算を審議します。その決算審査特別委員会で質問に立ちました。

二〇〇六年度は、阿部市長の「行財政改革」の5年目、福祉が次々削られて市民の悲鳴が次第に大きくなり、それを具体的に指摘しました。

寝たきり高齢者の介護をしていた家庭に、月1万円援助していた介護援助手当が実質廃止になり、老々介護の実態は深刻です。生活



こんなにも市民をいじめる市政でいいのから議会で質問して  
市議会議員 井口まみ

削減で、本当に困っている市民がいることをとりあげました。

局長の答弁はどれも、理屈をつけて改善できないの一点張り。どうして、わずかな予算を惜しんで、市民をいじめめるのか、本当に腹が

暴風警報でも登校する児童が

この日、すべての小中学校が休校になりましたが、どの学校でもそれを知らずに登校する子どもたちがいきました。

この場合、学校で保護者が迎えに来るまで保護することになっていきますが、すべての学校できちんと対応できたかどうかについて、答弁では、「校長会で申し合わせをして対応した」とのことでしたが、井口市議は、何回も経験することではないので、すべての学校にしっかりと徹底するよう、求めました。



増水している多摩川・上河原堰

保護世帯に援助していた上下水道基本料金減免制度の廃止で、水道料金を払えず、水を止められている世帯がある、など、市全体から見ればわずかな予算の

立って腹が立ってたまりませんでした。私は、副市長に（決算審査特別委員会は市長は出ない）、市民の生活をよく見て、市民を大事にする予算に切り替えてほしいと訴えましたが、副市長も

「効率的な予算運営をする必要がある」と答えるだけでした。

いつまでもこういう自治体でいいのかという、市民の皆さんの審判がどうしても必要だと、腹の底から思っています。

日本共産党議員団は  
国に改善を求める  
意見書を提案しました

七五歳になると、全員が別の医療保険に加入させられ、新たに月七千円近い保険料を年金から天引きされるといって、ひどい医療制度が来年から始まるようにしています。一方障害者の方は、お金がなければサービスが受けられない制度になって本当に苦しんでいます。

このひどい制度の改善を国に求める意見書を川崎市議会から提出しようと、九月議会で日本共産党議員団が他の会派と共同して案文を提案しました。

自・公・ネットの  
反対で否決

しかし、自民党、公明党とともに、神奈川ネットワーク運動の議員までが反対にまわり、賛成29、反対33の僅差で否決されました。これらの会派の皆さんは市民の苦しみをどう思っているのか……



共産、民主、無所属議員のみが賛成で起立

市民の生活を直撃する

後期高齢者医療制度・障害者自立支援法